

群馬パース大学 看護実践教育センター
認定看護師教育課程 摂食・嚥下障害看護分野
2021 年度受講者選抜試験

【 専 門 科 目 】

※ 注 意 事 項

1. 指示があるまで開かないこと。
2. 受験番号を必ず問題用紙表紙上部の欄に記入すること。
3. マークシートには「氏名」を記入し、「番号」に受験番号を記入・マークすること。正しく記入・マークされていない場合は採点できないことがあるので注意すること。氏名・番号・解答記入欄以外の欄には記入しないこと。
4. 解答は、マークシートの解答記入欄にマークすること。解答方法は、選択肢のうち質問に最も適した選択肢を1つ解答記入欄にマークすること。

例えば、1の問いに対して解答する場合は、**解答番号1**の**解答記入欄**にマークすること。

解答 番号	解 答 記 入 欄									
1	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩

(例) ③と解答する場合

5. 試験中に問題用紙の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及びマークシート・記述用解答用紙の汚れ等に気づいた場合は、手を挙げて監督者に知らせること。
6. 問題用紙の余白等は適宜使用してよいが、どのページも切り離さないこと。
7. 試験終了後、問題用紙・マークシートは回収する。

以上

問1 顔面神経に支配されているものはどれか。

1

- ① 咬筋
- ② 側頭筋
- ③ 頬筋
- ④ 外側翼突筋

問2 咀嚼筋はどれか。

2

- ① 口輪筋
- ② 頬筋
- ③ 笑筋
- ④ 側頭筋

問3 乳歯は何本か。

3

- ① 16本
- ② 20本
- ③ 22本
- ④ 24本

問4 無機質の占める割合が最も高い組織はどれか。

4

- ① エナメル質
- ② 象牙質
- ③ セメント質
- ④ 骨

問5 味蕾がない舌乳頭はどれか。

5

- ① 糸状乳頭
- ② 茸状乳頭
- ③ 葉状乳頭
- ④ 有郭乳頭

問6 舌の後ろ 1/3 の味覚を伝える脳神経はどれか。

6

- ① 三叉神経
- ② 顔面神経
- ③ 舌咽神経
- ④ 舌下神経

問7 喉頭蓋が封鎖するのはどの間か。

7

- ① 鼻腔と口腔
- ② 鼻腔と喉頭
- ③ 口腔と喉頭
- ④ 咽頭と喉頭

問8 導管が口腔前庭に開口しているものはどれか。

8

- ① 耳下腺
- ② 顎下腺
- ③ 舌下腺
- ④ 口蓋腺

問9 咽頭に関して誤っているものはどれか。

9

- ① 咽頭扁桃は咽頭の上部後壁の粘膜にあり子どもでよく発達している。
- ② 咽頭扁桃が病的に大きくなるとアデノイドとよばれる。
- ③ 耳管は咽頭の上部の側壁にあり中耳から咽頭へ通じる管である。
- ④ 咽頭壁筋層は平滑筋でほとんど意志の支配を受けない。

問10 食道の粘膜上皮はどれか。

10

- ① 重層扁平上皮
- ② 単層扁平上皮
- ③ 単層円柱上皮
- ④ 移行上皮

問 11 加齢による変化で誤っているものはどれか。

11

- ① 味覚閾値の低下
- ② 残気量の増加
- ③ 手指の巧緻性の低下
- ④ 消化液の分泌低下

問 12 認知症の特徴で誤っているものはどれか。

12

- ① アルツハイマー型認知症は緩徐に進行する。
- ② 血管性認知症は脳梗塞などによる神経症状を伴う。
- ③ レビー小体型認知症は歩行障害、幻視がある。
- ④ 前頭側頭葉変性症は視覚失認がある。

問 13 頭頸部がんの要因で誤っているものはどれか。

13

- ① 飲酒
- ② 喫煙
- ③ ヒトパピローマウイルス
- ④ 無歯顎

問 14 高次脳機能障害の説明で誤っているものはどれか。

14

- ① 神経心理循環では、意識・覚醒、運動・姿勢、摂食嚥下などが下層の土台となる。
- ② 意識の内容を担うのが上行性網様体賦活系、意識の覚醒を担うのが大脳皮質である。
- ③ ペーシング障害は、前頭葉症状の一つである。
- ④ 食べることは、高次脳機能のフル活動そのものである。

問 15 アルツハイマー型認知症の説明で誤っているものはどれか。

15

- ① 大脳皮質に出現する病理変化として、老人斑と神経原線維変化が特徴的である。
- ② 老人斑や神経原線維変化の量が、認知機能低下に比例する。
- ③ 軽度認知障害（MCI）では、日常生活を営むことは可能である。
- ④ 典型的な症状として、記憶障害、嗅覚異常、視空間認知障害などが挙げられる。

問 16 学習性不使用の説明で誤っているものはどれか。

16

- ① 神経が使用しないことを覚えてしまった状態のことである。
- ② 学習性不使用の状態となった神経に働きかける訓練手法を、CI療法という。
- ③ 主に末梢神経への働きかけが訓練のターゲットとなる。
- ④ 学習性不使用の改善を目的に口唇の運動訓練を行う場合は、非麻痺側の口唇運動を制限して実施する。

問 17 廃用症候群の説明で誤っているものはどれか。

17

- ① 長期臥床により循環血液量は低下し、起立性低血圧の原因となる。
- ② 長期臥床により、最大酸素摂取量は低下する。
- ③ 拘縮は、顕微鏡レベルでは1日、臨床的には3日程度で生じる。
- ④ 長期臥床傾向にある人に対しては、Ca量が多い経腸栄養剤を選択することが望ましい。

問 18 中枢神経の説明で誤っているものはどれか。

18

- ① 顔面神経核は、上部が両側支配、下部が一側支配である。
- ② 三叉神経の運動枝は両側支配である。
- ③ 嚥下中枢は延髄に存在する。
- ④ 中枢神経障害では、弛緩性麻痺を呈することが多い。

問 19 脳血管疾患によって生じる嚥下障害で誤っているものはどれか。

19

- ① 偽性球麻痺は、皮質脊髄路の両側性核上性病変によって生じる。
- ② 偽性球麻痺では、嚥下反射は残存するが惹起性が低下する。
- ③ 球麻痺は、延髄の運動神経核の障害により、発声・呼吸・嚥下・循環などに障害をきたす症状の総称である。
- ④ 球麻痺では、疑核の障害により食道入口部開大不全が生じることがある。

問 20 パーキンソン病の説明で誤っているものはどれか。

20

- ① レビー小体が大脳や脳幹などに蓄積する疾患である。
- ② 動作緩慢や姿勢反射障害などの症状が出現する。
- ③ 錐体外路症状として、筋緊張低下・運動減退症候群が特徴である。
- ④ ドパミン神経が減少する。

問 21 日本の将来推計人口で、2025 年の 65 歳以上の人口が総人口に占める割合のうち、最も近いものはどれか。 21

- ① 15%
- ② 30%
- ③ 45%
- ④ 60%

問 22 看護理論家とその業績の組み合わせで正しいものはどれか。 22

- ① ヘンダーソン — 『看護覚え書』
- ② アブデラ — 『患者中心の看護』
- ③ トラベルビー — 『人間関係の看護論』
- ④ ペプロウ — 『人間対人間の看護』

問 23 世界保健機関（WHO）のヘルスプロモーションの考え方で適切なものはどれか。 23

- ① プライマリーヘルスケアとは相反する。
- ② 人々が自らの健康をコントロールする。
- ③ 二次予防活動を促進する。
- ④ バイオメディカルエシックス（生命医学倫理）を基本理念とする。

問 24 患者の権利主張を支援・代弁していくものはどれか。 24

- ① アドボカシー
- ② エンパワメント
- ③ パターナリズム
- ④ コンプライアンス

問 25 介護保険で誤っているものはどれか。 25

- ① 第 1 号被保険者は 65 歳以上である。
- ② 要介護認定は市町村が行う。
- ③ 費用は原則 1 割利用者負担である。
- ④ 介護支援専門員は看護職か福祉職のいずれかである。

問 26 経鼻経管栄養法とその目的との組み合わせで正しいものはどれか。

26

- ① 栄養物を常温に戻す — 下痢の予防
- ② 注入前に空気を入れる — チューブの閉塞の予防
- ③ 注入後微温湯をいれる — 腹部膨満の予防
- ④ チューブをクレンメで止める — 抜管の予防

問 27 副雑音の分類で正しいものはどれか。

27

- ① いびき様音 — 連続性ラ音
- ② 捻髪音 — 連続性ラ音
- ③ 笛声音 — 断続性ラ音
- ④ 胸膜摩擦音 — 断続性ラ音

問 28 看護師が行う看護過程で適切なものはどれか。

28

- ① 問題解決思考である。
- ② 医師の指示の下で計画を立てる。
- ③ ゴール設定後の目標変更は行わない。
- ④ アセスメント、計画立案、評価の3段階で構成される。

問 29 インシデントレポートで誤っているものはどれか。

29

- ① 原因を追求し対策を考える。
- ② 報告はだれがしてもよい。
- ③ 各部署が活用しやすい書式を使用する。
- ④ 異なる職種間で情報を共有できるシステムを構築する。

問 30 1日エネルギー所要量が2300 kcalの標準体型の40歳の男性。1日の脂肪摂取量で適切なものはどれか。なお、脂肪1gは9 kcalとして計算する。

30

- ① 35 g
- ② 55 g
- ③ 80 g
- ④ 100 g

問 31 摂食嚥下の 5 期モデルで誤っているものはどれか。

31

- ① 先行期では覚醒状態を評価する。
- ② 準備期では食塊が咽頭方向に送り込まれる。
- ③ 咽頭期では嚥下反射が生じる。
- ④ 食道期では輪状咽頭筋が弛緩する。

問 32 スクリーニングテストの方法で正しいものはどれか。

32

- ① MWST は口腔前庭に冷水 3 ml を注いで実施する。
- ② 水飲みテストは水 20 ml を用いて実施する。
- ③ RSST では 1 分間に 3 回であれば正常と評価する。
- ④ 咳テストでは 30 秒間で 3 回以上の咳が出れば陰性と判定する。

問 33 間接訓練と目的の組み合わせで誤っているものはどれか。

33

- ① 舌の抵抗運動 — 舌圧の改善
- ② ハードブローイング訓練 — 鼻咽腔閉鎖不全の改善
- ③ 嚥下おでこ体操 — 喉頭挙上の改善
- ④ シャキア訓練 — 喉頭挙上の改善

問 34 直接訓練の開始基準で正しいものはどれか。

34

- ① 意識レベルが JCS 二桁の時間帯があること。
- ② 咳テストの判定結果が陽性であること。
- ③ 脳血管疾患の進行がないこと。
- ④ 気管カニューレが留置されていないこと。

問 35 レビー小体型認知症について誤っているものはどれか。

35

- ① 前頭葉の血流低下が特徴である。
- ② 便秘や嗅覚障害は初発症状であることが多い。
- ③ レム睡眠行動障害は典型的な症状の 1 つである。
- ④ 錯視の有無の評価にはパレイドリアテストが有効である。

問 36 半側空間無視がある患者への看護で正しいものはどれか。

36

- ① 非無視側の情報量を減らし、無視側の情報量を増やしていく。
- ② 食事介助は非無視側から実施することが望ましい。
- ③ 同名半盲を伴うため無視側への転倒に注意する。
- ④ たまねぎ現象が生じるように援助する。

問 37 気管カニューレの説明で正しいものはどれか。

37

- ① 喉頭挙上を阻害する。
- ② カフ付きカニューレの場合、声門下圧が上昇する。
- ③ 咽頭知覚が過敏となる。
- ④ カフ圧は 20 cm H₂O 前後に調整する。

問 38 栄養法の説明で正しいものはどれか。

38

- ① 経鼻胃管を英語でマーゲンチューブという。
- ② 液体の半消化態流動食は、8Fr 以上の栄養チューブであれば滴下可能である。
- ③ 胃瘻は一度造設すると経口摂取の回復が困難となる。
- ④ トライツ靭帯の手前まで栄養チューブ先端を留置させると、逆流予防に効果的である。

問 39 胃瘻の管理方法で正しいものはどれか。

39

- ① バンパー埋没症候群の予防に向けて、1日に一度胃瘻カテーテルを回転させる。
- ② 腹膜刺激症状として、反跳痛の有無を確認する。
- ③ ボタン型バルーンタイプの胃瘻カテーテルは、ボールバルブ症候群の発生に注意する。
- ④ 胃瘻カテーテルの外部ストッパーと皮膚の間には、3 cm 程度の間隔を設ける。

問 40 摂食機能療法の摂食嚥下支援加算で正しいものはどれか。

40

- ① 150点を算定できる。
- ② 算定は週に1回まで可能である。
- ③ 摂食・嚥下障害看護認定看護師の存在が算定要件となる。
- ④ 月に1回以上、VFとVEの両方を実施することが算定要件となる。